



グラウンドホッグとバレンタインの2月

2月に入ると、クリスマス・お正月などは遠い思い出のようになりますが、楽しい行事はまだまだあります。例えば、2月2日は北アメリカにしかない「グラウンドホッグデー」という春の訪れを予想する行事があります。その日の朝に、※グラウンドホッグをかごから出して、天気は晴れで自分の影を見て驚いてかごに戻ったら、冬は後6週間続く兆候です。天気は曇って影を見ないで自由にかごを出たら、春が早く来る兆候になります。グラウンドホッグデー は休みでもないし、忘れてしまう人もいますが、「グラウンドホッグは春が早く来ると言っていたよ」と聞いたら、誰もが喜びます。

でもやっぱり2月の行事といえば、バレンタインデーです。しかし日本とアメリカのバレンタインデーは違います。日本では、女性だけが男性にチョコレートをおあげしますが、アメリカでは女性も男性もプレゼントを交換します。プレゼントはチョコレートだけではなく、カード、花、お菓子、ぬいぐるみなどが贈られます。そして交換する人は好きな人、それとも好きになってほしい人だけです。小学生は同級生全員とキャンディーを交換するのが普通ですが、高校生・成人は恋人にしかプレゼントをおあげません。

アメリカではバレンタインデーに男性も女性にプレゼントをおあげますが、ホワイトデーはありません。義理チョコなどの習慣もありませんから、アメリカのバレンタインデーは日本のクリスマスみたいです。好きな人に告白したり、カップル・夫婦が高いレストランに予約してデートするなど幸せムードいっぱいなので、恋人のいない人には最低な日ですが、ベビーシッターにはなかなか利益のある日かもしれませんね。

※リス科最大の動物でウッドチャックとも呼ばれる。

A February of Groundhogs and Valentines

Once February rolls around, Christmas and New Years seem like far away memories, but there's still fun holidays to be had. For example, February 2nd is "Groundhog Day," a holiday celebrated only in North America to predict the coming of spring. On the morning of that day, a groundhog* is taken out of his cage, and if it's sunny outside and he sees his shadow, is scared and goes back into his cage, then it's a sign that winter will last for six more weeks. If it's cloudy and he doesn't see his shadow, and he comes out voluntarily, then that means spring will be coming soon. Groundhog Day isn't a day off, and a lot of people forget it even exists, but anyone is happy to hear that "the groundhog says spring will be coming soon!"

But when you talk about holidays in February, Valentine's Day is of course the first thing on most people's minds. But Valentine's Day in Japan and the U.S. are quite different. In Japan, only women give chocolate to men, but in the U.S., men and women exchange presents with each other. The presents that are given aren't just chocolate, but cards, flowers, candy, stuffed animals, or just about anything. The people they exchange with are also only people they're in a relationship with, or want to be in a relationship with. Elementary school students may exchange candy with all of their classmates, but high school students and adults only give presents to those they are with.

Since men and women give presents to each other on Valentine's Day in the U.S., there is no White Day. There's no giving of *giri choko*, duty chocolate, either, so Valentine's Day in the U.S. is similar to Christmas in Japan. Things like confessing your love to someone and couples making reservations at expensive restaurants for dates creates an all around mood of happiness which may be the worst day of the year for singles, but it's most likely quite the profitable day for babysitters.

* A type of squirrel, also called a woodchuck.

ギャラリーでたこ

玉城 杏月 (10さい)

邊土名 史穂 (10さい)

辺土名 泰我 (7さい)

池間 りこ (9さい)

平良 瑞希 (小5)

Gallery Tedako

作品募集

(テーマは自由です)はがきで送ってください!
 〆切りは毎月12日迄。氏名・年齢をお忘れなく!
 〒901-2501 沖縄県浦添市安波茶1-1-1
 浦添市役所国際交流課
 ☎876-1234 (内線2613・2614)



浦添市出身 JICA青年海外協力隊&シニア海外ボランティア 出発・帰国インタビュー

海外で活躍している日本人は多数いますが、浦添市出身者で、特に開発途上国の経済・社会の発展や友好親善を目的に活躍されている方々がいます。今回、本市出身者で、JICAボランティアとして海外へ派遣される大嶺千賀子さん、2年間のボランティア活動を終え帰国された石川督さんにお話を伺いました。

「沖縄とジャマイカの懸け橋になりたい」

派遣先: ジャマイカ

派遣期間: 2011年1月～2013年1月(2年間)

内容: コンピュータに関するワークショップの実施、コンピュータラボの運営管理のアドバイスなど

青年海外協力隊派遣
大嶺千賀子さん

「自分を成長させることができました」

派遣先: パプアニューギニア国

派遣期間: 2008年9月～2010年9月(2年間)

内容: マラリアおよびフィリリアを中心とした感染症対策など

シニア海外ボランティア派遣
石川督さん

このボランティア派遣に応募したきっかけは?

学生の頃、インド・ジャマイカへ行ったときに現地の子どもが学校へ行けなかったり、物乞いをしていたりする状況を見て、自分のスキルや経験をこういった国の人のために貢献したいと思っていました。

現地の活動において目標はありますか?

派遣されるポートアントニオというところでは、英語のほか

現地の印象は?

気候・風土は沖縄と似ていました。日中は暑いんですが、木

現地ではどのような活動をされていたのですか?

マラリア・フィリリアなど蚊が媒体となる感染症の対策に関するサポートをしていました。また、地方に配属された感染症隊員と本省関係部署との連絡・調整および保健関係情報の提供をしていました。

現在の心境と抱負をお願いします!

不安もありますが、希望・やる気が大きいです。信頼を大切にしていきたい。また、沖縄の歌や文化の紹介、テレビ電話等を使って、沖縄と現地の交流も行いたい。沖縄とジャマイカの懸け橋になりたいです。

この経験を今後どのように生かしたいですか?

私の経験を話すことによって海外ボランティアに行く人が増えたいと思います。またこういった機会があれば、再度チャレンジしてみたいですね。生きいきと自分を成長させることができるので、シニアにはライフプランとして良い事だと思っています。

第5回ふれあい講座
アフリカ特集

今回ご紹介するアフリカは、世界6大陸のうち2番目に大きい大陸であり、大陸全体では1000以上の言語が存在するといわれています。各自が属する民族固有の言葉、母語だけではなく、植民地時代に導入された言語を話す人も多くいます。自然や文化遺産も豊かであり、世界最長のナイル川も有名です。

アフリカにはどんな人が暮らし、どんな風景があるのでしょうか。沖縄と共通するものもあるかもしれません。

JICA研修員による国紹介を始め、〇×クイズや交流タイムもありますのでお気軽にお越しください。

日時 2月25日(金)
午後7時～8時半

場所 沖縄国際センター3階(101ホール)

※入場無料・予約不要

問い合わせ
JICA沖縄国際センター
☎876-6000
浦添市国際交流協会
☎879-3010